資料 8-3

訪問看護ステーションへの派遣事業（プラチナナース訪問看護支援事業）

新人同行訪問指導者派遣（４回）フロー図

利用者宅に同行訪問をし、新人訪問看護師の状況を見守る。
帰所後に共に振返りをすることで新人看護師自らの「気づき」を大切にして支援をする。

＜依頼者＞　　＜同行訪問指導者＞

様式１
新人同行訪問指導者
派遣申込書

派遣依頼

２事業所：内１件終了

新人訪問看護師：自己評価
管理者：利用者・家族への
説明と同意

様式2
開始前評価シート

様式３
事前打ち合わせ用紙

様式6
同行訪問指導者派遣事
業説明同意書

事前打ち合わせ
（ZOOM）

様式２・３の書面を基に事業所と期待する看護師像を含む新人看護師の状況を把握する機会としている。
ZOOM ではあるが、事業所管理者と指導者の顔合せができ、書面にない情報を得る機会になり、初回の同行訪問前の準備がスムーズである。

管理者と指導者で面談
（進行は事務局）

新人訪問看護師：訪問内容
全体の振り返り
管理者：指導者より口頭
報告を受ける

派遣1～2日目
（利用者宅 1～2 件訪問）

実際の訪問看護の状況を見守りながら利用者の反応を伺ったりしている。
同行訪問後、事業所で訪問内容全体の振返りながら「気づき」を導き、ケア方法の見直しや次回支援して欲しいことなど表現できていた。
新人看護師は、同行されることの緊張感はあるが、訪問看護におけるケアについての助言や支援を求めていた。他の利用者の気掛かりや訪問看護師としてのやりがい等を語る機会にも繋がっている。

新人訪問看護師：指導者と
共に最終評価シートを記入
管理者：交え評価の共有

派遣3日目
（利用者宅1～2 件訪問）
新人・管理者・指導者面談

様式4（記載しながら）
最終評価シート
（新人用）

最初と最終の訪問看護師として必要な技術評価シートにおいて 54 項目中 13 項目の評価上昇・特に 7 項目に関しては本人がレベルアップを感じている。
同行訪問によりケアへの自信や訪問看護師としての就業継続にも繋がっている。

終了

実施状況の報告（追記）
主に 1 件目の内容

2025 年 1 月 10 日現在